



平成 29 年 11 月 7 日

各 位

会社名 ヒラキ株式会社
代表者名 代表取締役 向畑達也
(コード番号 3059 東証第二部)
問合せ先 取締役経営戦略室長
姫尾房寿
(TEL 078-967-4601)

業績予想と実績の差異および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたしますとともに、同期間の実績の反映および最近の業績の動向を踏まえ、通期業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値と実績の差異

(1) 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想と実績の差異 (単位：百万円)
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	9,500	410	390	265	54 円 40 銭
実績 (B)	8,920	514	505	340	69 円 89 銭
増減額 (B-A)	△580	104	115	75	—
増減率 (%)	△6.1	25.6	29.7	28.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期 実績	9,192	408	377	255	52 円 37 銭

(2) 差異の理由

売上高につきましては、とりわけ通信販売事業におきまして、残暑の影響で、秋・冬物の販売促進商品の立ち上がりが鈍く推移し当初予想を下回る結果となりました。

一方、利益面では、為替予約が円高水準で確保できたことおよび店舗における P B 商品の売上構成比のアップ等により売上総利益率が予想を上回ったことに加え、販売促進費を主とした経費の削減により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益において計画を上回る水準となり差異が発生しました。

2. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成30年3月期通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期 純利益
前回発表予想(A)	19,000	820	780	530	108円81銭
今回修正予想(B)	18,500	1,000	990	660	135円50銭
増減額(B-A)	△500	180	210	130	—
増減率(%)	△2.6	22.0	26.9	24.5	—
(ご参考) 前期実績	18,183	813	772	526	108円02銭

(2) 修正の理由

通期連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における実績および下期予想を考慮し、上記の通り修正いたします。

売上高は、通信販売事業において、訴求力ある商品の投入に加えテレビCMの放映およびWEB戦略の多様化等の販売促進策の強化により当初下期計画を上回る予想ですが、上期の減少を補うまでに至らない見込みです。

利益面については、売上総利益率の上期並みの水準確保により売上総利益の増加を見込んでおります。一方で、売上増加を企図した広告宣伝費および配送料値上げによる経費の増加を主因に上期並みの利益確保には至りませんが、前回発表予想を上回る営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益となる見込みです。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上